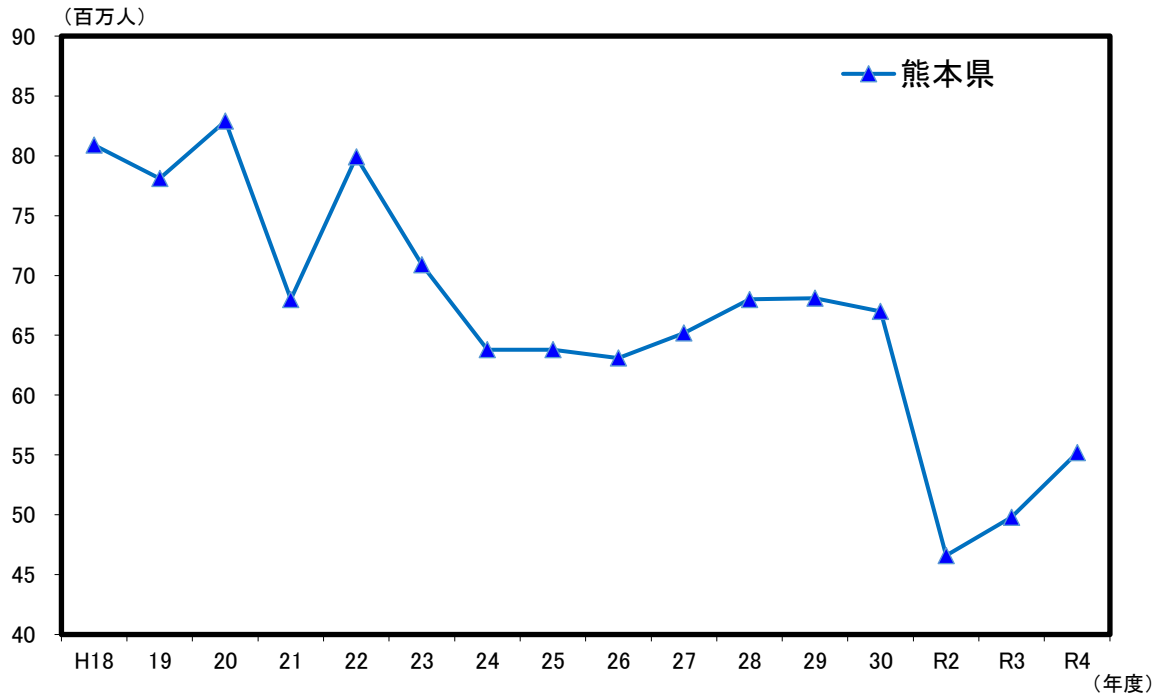


熊本県の自動車貨物輸送量の推移



解 説

【概要】
令和4年度の県内自動車旅客輸送人員は24百万人で全国の36億18百万人の0.7%を占めた。
また、令和4年度の自動車貨物輸送トン数は55百万トンで全国3,826百万トンの1.4%を占めた。
本県の自動車貨物輸送量の推移をみると、平成20年度には83百万トンとなった。しかし、その後は減少増加を繰り返し、令和2年度は47百万トンまで減少したが、令和3年度からは増加傾向にある。

- 自動車旅客輸送人員
都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし貨物自動車及び軽自動車の分は含まない。
- 自動車貨物輸送量
都道府県別輸送量は、「自動車輸送統計年報」の地方運輸局別輸送量を、運輸支局別登録自動車数の比率（各年度末）により推計したものである。ただし、特殊用途車を含み、軽自動車は含まない。
- 一人当たり自動車貨物輸送量
自動車貨物輸送量÷推計人口（令和4年10月1日現在）
- 普通倉庫
法律上の分類による一類、二類、三類、野積、貯蔵槽、危険品倉庫。

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「自動車輸送統計年報」 国土交通省 「倉庫統計季報」 国土交通省	令和4年度 令和3年度	毎年